

地域を守って30年

管理を始めて30年

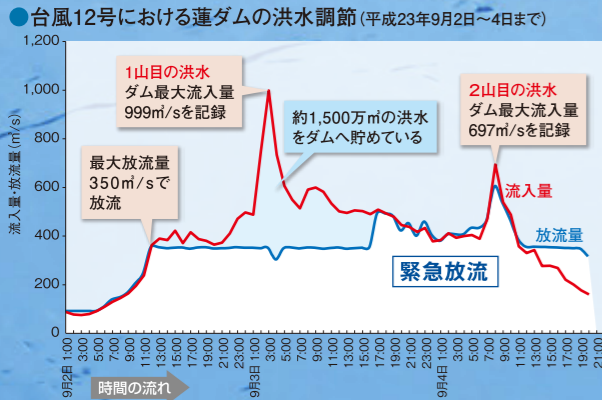
コンクリート打設が完了したダムに、試験湛水として初めて水が溜められて以来30年。より良い管理のための設備導入や、実際の洪水での防災操作を検証するなかで操作方式の見直し等を行ってきました。防災操作だけでなく複数の役割を担う多目的ダムとして、地域の安全、生活と深く関わりながら歩んできました。



1997
ダム湖の水質保全をはかる表層曝気循環装置を設置
最大流入量806m³/sを記録



2011
管理開始以降で最大の流域平均累計雨量1,448mmを記録し、蓮ダムで緊急放流を実施



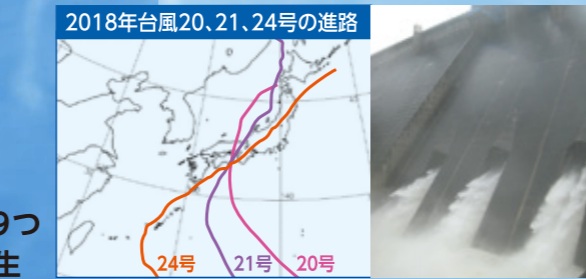
2012
台風4号の影響で松阪市の水道施設が被災し断水が発生

2021
管理開始30年

2020



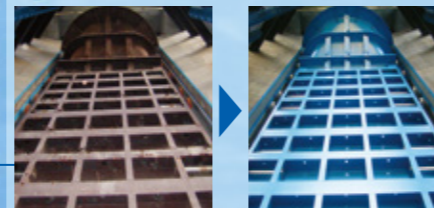
2018
8月だけで9つの台風が発生



2010

2005
記録的な水不足

2010
選択取水設備修繕工事



2011
モバイルサイト・リアルタイム情報公開



2000

2000
ダム情報表示板(犬飼)更新

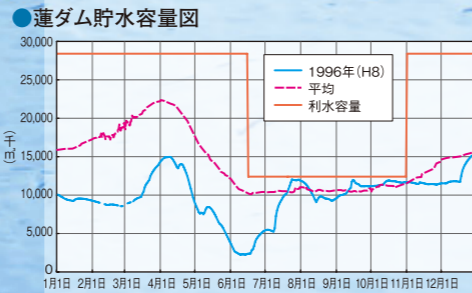


2004
5回の洪水調節を行う、9月29日最大流入量811m³/s

1994

管理開始以降で最大の流入量1,081m³/sを記録

1996
渇水時には最低貯水率7.9%を記録



1991
蓮ダム竣工



1990

施設の健康管理も万全を。

蓮ダムでは、ダムに付属するものだけでなく上流や下流に存在するさまざまな設備も使って、日々の管理をおこないます。こうした設備はまさにダム管理の生命線。常に問題のない状態で使用できるようにするため、点検や修理の体制が厳正に組まれています。

表層曝気循環装置

淡水赤潮やアオコの発生原因となる植物プランクトンの発生を抑えます。



主放流設備



洪水時の防災操作に使用する設備です。

副放流設備

洪水時の初期放流や小さな洪水時に使用する設備です。

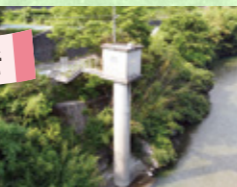


利水放流設備

放流量の微調整が可能な設備です。

田引水位観測所

田引地点で川を流れる水位を観測します。



放流警報局

ダムからの放流時に川から離れるように放送で呼びかけ、警報サイレンを鳴らします。



津留取水堰

櫛田川の津留地点で取水し、多気浄水場へ送水します。



青田貯砂ダム



ダム湖に流入する土砂を少なくします。

雨量観測所



雨量を観測します。

流入水制御フェンス

洪水時の濁水の短縮化や拡散の防止をします。

網場



ダム湖内に流れ込んだ流木やゴミ類を捕捉します。

選択取水設備

表層の澄んだ水を取水します。



蓮ダム管理所



操作室

ゲート操作をはじめ、蓮ダム全体を総合的に管理しています。

雨量観測(雨量計)

屋上には雨量計があり、雨量を観測しています。

プラムライン

ダムのたわみを測定し、ダムの安全性をチェックします。



貯水池水位計

ダムの貯水池の水位を測定しています。



揚圧力計(52箇所)

揚圧や揚水量を測定しその変化を監視します。



地震計(3箇所)

水平方向・鉛直方向の加速度を計測します。



監視カメラ

映像を管理所で確認し、河川の状況を監視しています。



両郡水位観測所

両郡地点で川を流れる水位を観測します。



上流の雨量情報から下流の水位状況、ダム湖やダム本体の各種設備などを常に正しく管理しています。これからも流域の皆さんの安全・安心を守るように取り組んでいきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

30 蓮ダム管理開始30年